

パリで多発テロ



銃撃があった現場から運ばれる負傷者 = 13日、パリ (ゲッティ=共同)

120人死亡、イスラム過激派か

【パリ共同】パリ中心部の劇場や郊外の競技場近くなど少なくとも3カ所で、13日午後9時(日本時間14日午前5時)すぎ、ほぼ同時に乱射や爆発が起きた。ロイター通信はパリ市当局者の話として、死者が計約120人に上ったと伝えた。フランスのメディアによると、劇場では立てこもりが起きたが、治安部隊が突入、犯人らを射殺した。周到に計画された同時多発テロとみられる。オランダ大統領は非常事態を宣言、事態が沈静化するまで国境を閉鎖すると述べた。

フランス公共ラジオは、劇場でのテロを起こした実行犯らは「アラー・アクバル(神は偉大なり)」と叫び、群衆に銃撃したとの目撃者の証言を伝えた。実行

仏大統領が非常事態宣言

犯らは「シリアへの介入を容認しない」とオランド氏を批判していたという。イスラム過激派による犯行の可能性がある。警察当局者は、競技場近くで起きた爆発は自爆テロとの見方を示した。

パリの日本大使館は、日本人が巻き込まれていないか確認を急いでいる。

パリ検事局は、容疑者5人が死亡したとする一方、逃走した容疑者がいる可能性も示唆した。オランド氏は緊急テレビ演説を行い「前例のないテロが起きた。われわれは結束し、断固として戦う」と述べた。

フランスでは今年、パリの週刊紙本社銃撃、リヨン郊外のガス工場爆発などテロが相次いでいる。オバマ米大統領や潘基文(バン・

キムン) 国連事務総長もテロを強く非難した。

フランスのメディアによると、立てこもりが起きたバタ克蘭劇場はパリ11区にあり、襲撃時、米国のロックグループのコンサートが開かれていたという。パリ10区のレストランでも銃撃があった。

パリ郊外サンドニ市の競技場「スタッド・ド・フランス」でサッカーのフランス対ドイツ代表の親善試合が行われている最中、近くで複数の爆発が起きた。オランド氏とドイツのシュタインマイヤー外相が観戦していたという。CNNが放映した映像では、試合中に爆発音があり、選手たちがプレーを中断、場内は騒然となった。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社 2015

読者室 028-625-1179

(受付 月~金・午前10時~午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは

ダイヤル 0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは

フリーダイヤル

0120-810081

携帯で、スマホで橋木のニュースを!!

下野新聞 SOON

月額 250円+税

下野新聞 検索